

室蘭の製鉄記念室蘭病院が10月に胆振管内で初めて開設した「脊椎・脊髄センター」で研修に励んでいるのは、香港のプリ

日本の最先端医療学ぶ



センター開設を知り、手術中にも撮影できる可動型のコンピュータ画像断層撮影装置（CT）など最先端の医療機器がそろった。小谷善久センター長の手術に立ち会い、小さな切開で曲がった背骨を矯正する難度の高い手術法を学ぶ。

ンセス・マーガレット病院の整形外科医、ウオンチヨンピ黄創興さん（36）。「日本の最先端の技術を学び、香港で役立てたい」と意欲を語る。

香港では「メスを入れられるのが怖い」などと手術を敬遠する傾向が強いという。「患者に負担の少ない最先端の技術を習得し、不安を和らげ1人でも多く患者を救いたい」（相沢宏）